

中 遠

静岡教区 中遠支部
立教百八十九年二月

二四三

☆ひのきしん



天理時報 手配りひのきしん者の皆さまへ

日頃は手配りひのきしんの上にお心寄せいただきまして、誠にありがとうございます。寒さ厳しい中です、気を付けておつとめください。

二月 十一日号	二月 六日到着分	手配りです
二月 十八日号	二月十三日到着分	手配りです
二月 二十五日号	二月二十日到着分	手配りです
三月 四日号	合併号の為 手配りはありません	
三月 十一日号	三月 六日到着分	手配りです
三月 十八日号	三月十三日到着分	手配りです
三月 二十五日号	三月二十日到着分	手配りです

以上 宜しく願います。

「日時」二月二十五日（水）九時～十時

雨天時 二十七日（金）

「場所」 「エコパ」十一駐車場 花壇 現地集合

「内容」 除草と花がら摘みのひのきしん

「服装」 ひのきしんの出来る道具、服装

「主催」 掛川「陽気くらぶ」エコパサポーターズ

〇〇八五五六―二九六一 萩田伊津夫（和田岡分・二組）



「日時」 二月十二日（木）九時～十時三十分

二月二十五日（水）九時～十時三十分

「場所」 「エコパ」エントランスホール 花壇 現地集合

「内容」 除草と花がら摘みのひのきしん

「服装」 ひのきしんの出来る道具、服装

「主催」 磐田「陽気くらぶ」エコパサポーターズ

〇〇一五一〇五―〇六七二 鈴木孝幸（山八分・五組）

☆つどい

みんなで考えるおたすけフォーラム

「人がたすかるとは？」

「人がたすかるとは？」・・・この問いは、おたすけに励む私たちにとって常に大切なテーマです。戸別訪問や路傍講演など布教に歩く方、地域での支援や社会貢献の活動に取り組んでいる方、あるいは始めようとする方の中で、悩みや壁に直面している方も少なくありません。

本フォーラムは、専門家の講演を聞く場ではなく、参加者一人ひとりが自分の思いや体験を語り合い、共に学び合う対話の場です。困りごとや迷いを分かち合いながら、心のおたすけにつながる新しい気づきやつながりを生み出すことを目的としています。教祖百四十年祭の節目に、あらためて「おたすけ」の意味を共に問い直し、次なる一步を踏み出しましょう。

『期日』三月二十五日（水）十三時三十分～十七時

『会場』おちば おやさとかた東左第四棟三階各教室 他

『対象』ようぼく 『定員』各分科会二十五名

※定員になり次第締切

『参加費』無料 『締切』三月十五日（日）

『内容』委員長挨拶・オリエンテーション

『分科会』分科会では、左記の四つのテーマごとに小グループに分か、それぞれの現場での取り組みや悩みを共有し、気づきや学びを深める対話を行います。ファシリテーター（進行役）が進行を務め、話し合いの中で「人がたすかる」とは何かを共に考えます。いずれかの分科会を選んでお申し込みください。



☆ **にをいがけ（神名流し、路傍講演、戸別訪問など）**

ねらい どうすれば相手の心に届くおたすけができるか、実践のヒントを得る。

内容 現場での体験を振り返り、み教えを伝える難しさや

喜びを共有し、心だすけの姿勢を考えます。
進行役 笹倉 雅浩氏（兵庫中央分教会長）

☆ **地域貢献活動（子ども食堂、フードパントリー、学習支援など）**

ねらい どうすれば相手の心に届くおたすけができるか、実践のヒントを得る。

内容 現場での課題ややりがいと共有しながら、「支援」と「おたすけ」の違い・つながりを考えます。

進行役 辻 真一氏（甲京分教会長）

☆ **社会福祉活動（里親、保護司、教誨師、民生委員など）**

ねらい 社会に根ざした信仰のあり方を見つめ直す。

内容 地域社会における奉仕・貢献を振り返り、信仰者としての関わり方考えます。

進行役 白熊 繁一氏（中千住分教会前会長）

☆ **インターネットを使った布教（音声配信、動画配信、SNS、ブログ、ホームページなど）**

ねらい インターネットを利用した、にをいがけ・おたすけを考える。

内容 インターネットを通して人とつながる事例を共有し、ネット社会におけるにをいがけのかたちを考えます。

進行役 吉福 成人氏（濃飛分教会長）



※連絡先

ひのきしんスクール事務局 632-8501 天理市三島町一―

☎ 0743-六二二―二二四

FAX 0743-六二二―七二六六 Eメール h-sc@tenrikyo.jp

☆ 学 生 会

学生生徒修養会 大学の部

おちばにお引き寄せいただいた学生達が、教えを学び、信仰の喜びを味わい、普段から信仰に基づいた生活ができるようになることを目指し、学生生徒修養会大学の部を開催いたします。

募集要項

《期間》三月四日（水）～三月八日（日）（四泊五日）

《受講対象》大学、短期大学、大学院、専門学校、高等専門学校（四年生以上）に在学している者

全期間を通して受講できる者

《人員》七〇〇名（定員になり次第締め切りです）

《内容》講話、グループワークなど

《集合》三月四日 午前九時四十五分～十時十五分

詰所にて受付票を受け取り、記載されている宿舎に

《解散》三月八日 午後二時頃



《受講御供》一〇,〇〇〇円（直属学生担当委員会）に納入
《申込期間》令和七年十二月二十五日～令和八年二月十五日
※申込方法などは

問い合わせ先 学生担当委員会事務局

☎0743-六二二―二四八九

学生生徒修養会 高校卒業生コース

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの時期に、教えを学び、同世代の繋がりを深めることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。

卒業後、どのような環境においても、おちば、教会に繋がりを、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、学生生徒修養会 高校卒業生コースを開催いたします。

募集要項

【期間】三月 十日（火）～十二日（木）（二泊三日）

【受講対象】令和七年度高等学校卒業予定者

全期間を通して受講できる者

【募集人員】四〇〇名（定員になり次第締め切りです）

【内容】講話、グループワーク、おたのしみ行事など

【集合】三月十日 午前九時四十五分～十時十五分

詰所にて受付票を受け取り、記載されている宿舎に

【解散】三月十二日 午後二時三十分頃



【受講御供】五、〇〇〇円（直属学生担当委員会）に納入
【申込期間】令和七年十二月二十五日～令和八年二月十五日
※申込方法などは 学生担当委員会事務局にお尋ねください
※問合せ先 天理教学生担当委員会事務局

Tel 073-631-2489

教祖百四十年祭

学生おちばがえり大会

《趣 旨》

教祖百四十年祭を迎え、この旬に、道につながる学生がこぞっておおぼに帰り集い、真柱様のお言葉を心に治め、次代を担うようべくへと成人していくことを決意する。

また、道の学生が教会につながり、優しい心になって、優しさの連鎖を作る。そして、その心を持ち寄って、みんなで作る、優しさと笑顔があふれる大会とする。

《テーマ》

「皆で勇んでみんなでつくる、
優しさと笑顔あふれる大会を」

《期 日》

三月二十八日（土） 大会式典

二十七日（金） 前夜祭

《内 容》



朝晩時代から続く伝統の「おちば」。最大で円形に集まり、真柱様のお言葉を心に治め、次代を担うようべくへと成人していくことを決意する。

三月二十七日（金） 夕づとめ後～二十一時頃
前夜祭（東西泉水プール前広場）
三月二十八日（土） 十時～十一時頃
大会式典（本部中庭）
式典後
おつとめ（本部中庭）
十一時四十五分頃～十五時
直属アワー（各信者詰所）
《参加対象》 高校生（新一年生を含む）、大学生、短期大学
生、専門学校生、大学院生など
《主 催》 教祖百四十年祭おちばがえり大会実行委員会
天理教学生担当委員会

新春の親里・伝統行事に3万9678人
天理教教会本部「お節会」



2024.1.1 発行 | 天理教本部

「新春の風物詩」である天理教教会本部（奈良県天理市）の「お節会」が、1月5日から7日まで開かれた。明治時代の初め頃から続くこの伝統行事は、正月三日が日、本部神院にお集えられた親類を、1月4日の「親開き」ではどよどよ大きさに切り分け、すまし汁仕立ての雑煮にして振る舞うもの。3日間で3万9678人が来場し、親里は連日大いににぎわった。期間中は、全国から集まった信者や親里で学ぶ学生・生徒ら約5000人が真心を込めて、会場準備や接待、誘導などに当たった。